

市計画マスター・プランにおいて、その部分をマスター・プランから削除か凍結すべきと迫った。その他の、緊急避難場所で一定期間滞在するための対策や、春野郷土資料館の運営、農道・水路の維持管理などについて質問した。

竹内千賀子議員は、鳥取ループ・示現舎による「全国部落調査」の発刊・販売は、部落差別を助長し長年の運動や行政の取り組みを台無しにする行為であるとして、対応を求めた。市長は「差別意識の問題が同和問題の最後の壁。あらためてその壁の厚さを認識した。問題解決に向けて一層の人権教育・啓発を進める必要がある」と答弁。

深瀬裕彦議員は、2014都市計画マスター・プランにおいて、防災道路の整備に関して追記された部分は防災対策部と協議していなかったことを明らかにし、その部分をマスター・プランから削除か凍結すべきと迫った。その他の、緊急避難場所で一定期間滞在するための対策や、春野郷土資料館の運営、農道・水路の維持管理などについて質問した。

市計画マスター・プランにおいて、その部分をマスター・プランから削除か凍結すべきと迫った。その他の、緊急避難場所で一定期間滞在するための対策や、春野郷土資料館の運営、農道・水路の維持管理などについて質問した。

市計画マスター・プランにおいて、その部分をマスター・プランから削除か凍結すべきと迫った。その他の、緊急避難場所で一定期間滞在するための対策や、春野郷土資料館の運営、農道・水路の維持管理などについて質問した。

市民一人一人の  
小さな声と小さな願いを  
大きく育てる岡崎市政に!

市民クラブ

「マスター・プラン」決裁偽造を告発、「西敷地」矛盾を指摘

日本共産党

「マスター・プラン」決裁偽造を告発、「西敷地」矛盾を指摘

日本共産党

岡崎市長は「道の駅構想についての地元説明会が開催されたものの、その経過が不透明なことや事業の進め方に対する不信感や不満の声があるため、アンケート調査の延期や、時間をかけて地元と協議を行うことを提案した。また、桂浜公園整備事業と競合することについては、喫緊の課題である桂浜公園整備を優先して行うとの答弁があつた。

## 9月定例会を振り返って

### 会派の意見

岡崎豊議員は、道の駅構想についての地元説明会が開催されたものの、その経過が不透明なことや事業の進め方に対する不信感や不満の声があるため、アンケート調査の延期や、時間をかけて地元と協議を行うことを提案した。また、桂浜公園整備事業と競合することについては、喫緊の課題である桂浜公園整備を優先して行うとの答弁があつた。

3議員が市政をただす!  
・自衛隊OBを職員採用へ  
南海トラフ地震への組織対応

新風クラブ

新風クラブ

3議員が市政をただす!  
・自衛隊OBを職員採用へ  
南海トラフ地震への組織対応

新風クラブ

新風クラブ